

教001	項目名	特色ある小中9年教育支援事業費	
予算書項目	教育改革推進事業費	ページ	31
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	917		
総務部長段階査定額	535	その他財源の内訳	
市長段階査定額	535	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	535		
計	535		
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3089 【10次総の施策体系】 1102 【事業の経過及び背景】 「江山校区の学校のあり方を考える会」より、今後の江山中校区の小中学校のあり方について示された要望書が、平成29年9月19日に提出された。これを受けて、校区審議会において審議され、平成30年5月31日に、神戸小・美和小・江山中の3校による小中一貫教育校を設置する旨の答申がなされたところである。本市は地域の意見を最大限尊重し、地域と協働しながら学校づくりに取り組む意向としており、要望書の実現に向けて調整を要する。また、小中一貫教育校の開校をめざして諸準備を進めるが、学力の向上、学校不適応の解消といった取組はもとより、江山中校区ならではの特色ある要素を取り入れた教育課程の編成が重要となる。 【事業の目的】 江山地区義務教育学校設立準備委員会の設置、小中教職員合同研修会の実施、先進地視察などの地域の自発的で適切な取組を支援することで、学校教育の充実をはじめ、地域の教育力の向上及び児童生徒の健全育成を図る。また、学校統合に伴い、閉校となる学校の記念事業の実施を支援することで、在籍している子どもたちはもとより、地域や多くの卒業生が長年の学校への思いを刻み、これまでの学校文化を継承した新たな学校づくりへの礎を築く。さらに、開校までの間にも3校による交流学習・行事の充実を図ることで、スムーズな義務教育学校への移行を実現し、教育効果をより一層高めていく。 【事業の内容】 ○小中合同研修会の実施（講師旅費及び報償費） ○複数小学校を統合した施設一体型小中一貫教育校について検討を行うための、地域・学校関係者・PTAによる先進地視察（旅費） ○小中一貫教育ビジョンに基づくカリキュラム策定及び刊行物発行（印刷製本費） ○小中一貫校推進委員会開催費及び啓発チラシ印刷代（消耗品費及び通信運搬費）			

教002	項目名	放課後児童対策事業費	
予算書項目	放課後児童対策事業費	ページ	23
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	一般会計		
款	民生費		
項	児童福祉費		
目	児童福祉総務費		
(単位:千円)			
補正前額	434,880		
要求額	675		
総務部長段階査定額	675	その他財源の内訳	
市長段階査定額	675	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	675		
計	675		
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】 学務係 0857-20-3356 【10次総の施策体系】 1201 【事業の経過及び背景】 合併前の鳥取地域の児童クラブは保護者会への委託方式、合併地域の児童クラブは直営方式でそれぞれ運営していたが、平成18年度から全てのクラブを委託方式に移行し現在に至る。近年、児童クラブのニーズが高まり入級児童数が増加している。 【事業の目的及び効果】 放課後児童クラブ支援員が効率的かつ効果的に業務を遂行できる環境を整備することで事業の円滑な実施を図る。 【事業の内容】 ・非常用照明修繕 4施設（遷喬小学校、世紀小学校、湖山西小学校、若葉台小学校） ・パソコン、プリンターの導入 3クラブ（浜坂小学校、稲葉山小学校、美和小学校）			

教003	項目名	小学校3～6年生における35人学級実施事業費	
予算書項目	小学校35人学級実施事業費	ページ	31
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 小学校費	【事業の経過及び背景】		
目 教育振興費	小学校1・2年生を対象に、義務教育への導入時における学校生活への適応の円滑化、基本的な生活習慣の習得、基礎学力の定着を図るなど様々な教育課題を解決するため、平成14年度から30人学級を実施している。平成24年度から新たに小学校3～6年生を対象に1/2協力金方式で35人学級を実施することとなった。		
(単位:千円)	本年度は学級数を20学級と見込んでいたが、学校基本調査(毎年5月1日実施)において、17校25学級に確定した。		
補正前額	40,000	【事業の目的及び効果】	
要求額	10,000	児童一人ひとりに応じたきめ細かな指導により、児童の生活指導及び基礎学力の定着が図られる。	
総務部長段階査定額	10,000	【事業の内容】	
市長段階査定額	10,000	本年度は、17校25学級で実施となったため、県への協力金を増額補正する。	
区分	補正額	1/2協力金方式(教員1人当たり200万円を県へ拠出する方式)	
財源内訳		その他の財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	10,000	手数料	0
計	10,000	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

教004	項目名	中学校2・3年生における35人学級実施事業費	
予算書項目	中学校35人学級実施事業費	ページ	31
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 中学校費	【事業の経過及び背景】		
目 教育振興費	中学校1年生に対するきめ細かな指導環境を整備する必要から、平成15年から33人学級を実施している。(平成15年度は、南中1校のみでモデル実施。)		
(単位:千円)	平成24年度から新たに中学校2・3年生を対象に1/2協力金方式で35人学級を実施することとなった。		
補正前額	20,000	本年度は学級数を10学級と見込んでいたが、学校基本調査(毎年5月1日実施)において、6校13学級に確定した。	
要求額	6,000	【事業の目的及び効果】	
総務部長段階査定額	6,000	生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導により、中学校生活への円滑な移行、学校不適應対策における不登校の未然防止、基礎学力の定着、学力の向上などが図られる。	
市長段階査定額	6,000	【事業の内容】	
区分	補正額	本年度は、6校13学級で実施となったため、県への協力金を増額補正する。	
財源内訳		1/2協力金方式(教員1人当たり200万円を県へ拠出する方式)	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	6,000	手数料	0
計	6,000	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

教005	項目名	一般管理費(学校給食センター)	
予算書項目	運営管理費等	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 建築基準法12条に基づく市有施設の定期点検で、非常用照明に不具合があることが判明した。		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 非常用照明の交換を行い、適切な施設管理を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 第二学校給食センター 19箇所 気高学校給食センター 16箇所 鹿野学校給食センター 5箇所 青谷学校給食センター 3箇所		
補正前額	60,833	分担金	0
要求額	2,076	負担金	0
総務部長段階査定額	2,076	使用料	0
市長段階査定額	2,076	手数料	0
区分	補正額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	2,076		
計	2,076		
行財政改革課処理欄			

教006	項目名	歴史博物館管理費	
予算書項目	歴史博物館管理費	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【10次総の施策体系】3302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 平成30年7月に鳥取市歴史博物館の2台ある空冷ヒートポンプチラーのうち1台の圧縮機(コンプレッサー)が故障して使用不能となった。 2台のチラーにより、設定湿度55%、設定温度22℃(収蔵庫)・23℃(展示室)が保たれているが、1台のみでは夏場に機能せず、施設利用者の環境の悪化、重要文化財等の展示や収蔵に支障を来すため、早急に対応する必要が生じた。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 設置から19年が経過し更新の時期に入っていることから、故障した空冷ヒートポンプチラー1台を緊急に更新し、適正な管理を図り、利用者サービスの保持を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 空冷ヒートポンプチラー緊急修繕業務(1台) 30,996,000円 非常用ガス式空調機作動による光熱費負担金 6,480,000円		
補正前額	135,788	分担金	0
要求額	75,991	負担金	0
総務部長段階査定額	37,476	使用料	0
市長段階査定額	37,476	手数料	0
区分	補正額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	37,476		
計	37,476		
行財政改革課処理欄			

教007	項目名	集会所管理費	
予算書項目	社会教育施設管理費	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	社会教育費		
目	社会教育施設管理費		
(単位:千円)			
補正前額	48,824		
要求額	1,297		
総務部長段階査定額	985	その他財源の内訳	
市長段階査定額	985	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	985		
計	985		
事業の概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362、施設係 0857-20-3373</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【事業の経過及び背景】 公民館以外に生涯学習・スポーツ課所管施設として、地域における生涯学習の推進及び地域の活性化を目的として集会所が設置されている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 河原町コミュニティセンター大講堂の天井ダウンライトが劣化により交換が必要となったため、修繕を行い、施設の利用環境を良好に保つ。</p> <p>【事業の内容】 河原町コミュニティセンター大講堂天井ダウンライトLED交換 20灯</p>		
行財政改革課処理欄			

教008	項目名	サイクリングターミナル運営管理費等	
予算書項目	サイクリングターミナル運営管理費等	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	社会教育費		
目	社会教育施設管理費		
(単位:千円)			
補正前額	13,841		
要求額	558		
総務部長段階査定額	497	その他財源の内訳	
市長段階査定額	497	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	497		
計	497		
事業の概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362、施設係 0857-20-3373</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【事業の目的及び効果】 昭和53年から青少年の健全育成と福祉の増進に寄与することを目的に利用されているサイクリングターミナル「砂丘の家」の自転車用倉庫の扉が壊れ、開閉が困難となったため、修繕を行い、施設の適正な管理と利用者サービスの保持を図る。</p> <p>【事業の内容】 サイクリングターミナル「砂丘の家」自転車用倉庫扉修繕 1箇所</p>		
行財政改革課処理欄			

教009	項目名	各種大会開催補助金	
予算書項目	各種大会開催補助金	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】スポーツ振興係 0857-20-3371		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 日本女子サッカーA代表チームの国際試合となる国際Aマッチが、平成30年11月11日(日)にとりぎんバードスタジアムで行われることが決定した。		
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取の子どもたちにレベルの高い競技を観戦する機会を創出することで、スポーツに興味を持ちスポーツを始めるきっかけを作るとともに、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致に向けて、運営ノウハウの拡充を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 とりぎんバードスタジアムで開催される日本女子サッカーA代表による国際大会を円滑に開催するため、開催経費の一部を支援する。 主催：日本サッカー協会 主管：鳥取県サッカー協会		
補正前額	2,000	※その他財源の諸収入は、バードスタジアム国際交流基金助成金	
要求額	3,500		
総務部長段階査定額	3,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	3,000
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	3,000		
一般財源	0		
計	3,000		
行財政改革課処理欄			

教010	項目名	体育施設管理費	
予算書項目	体育施設管理費	ページ	33
年度	H30		
所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 鹿野町運動広場ほか12施設ある西部地域体育施設においては、民間の経営感覚、ノウハウ等を取り入れた指定管理業務を、平成30年4月から行っている。		
目 体育施設費	【事業の目的及び効果】 老朽化して倒壊の恐れがある鹿野町運動広場の倉庫を撤去し、市民サービスの保持を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鹿野町運動広場倉庫撤去業務 1棟		
補正前額	251,229	その他財源の内訳	
要求額	195	分担金	0
総務部長段階査定額	195	負担金	0
市長段階査定額	195	使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	195		
計	195		
行財政改革課処理欄			

教011	項目名	プール管理費
------	-----	--------

予算書項目	プール管理費	ページ	33
-------	--------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
-------	------------------------

年度	H30
----	-----

会計名	
一般会計	
款	教育費
項	保健体育費
目	体育施設費

事業の概要	
【問合せ先】施設係 0857-20-3373	
【10次総の施策体系】1103	
【事業の目的及び効果】 河原市民プールの濾過ポンプが故障したため、早急な修繕を行い、市民の施設利用環境を保持する。	
【事業の内容】 河原市民プール濾過ポンプ修繕 1台	

(単位:千円)

補正前額	9,643
------	-------

要求額	497
-----	-----

総務部長段階査定額	497	その他財源の内訳	
市長段階査定額	497	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	497
計	497

行財政改革課処理欄
